

Ⅲ 調 査 票

【アフターコロナを見据えた県の行政・財政運営に関する県民満足度調査について】

県では、「最高品質の行政サービスを提供し、ふるさと長野県の発展と県民のしあわせの実現（県の行政経営理念）」に向け、組織としての具体的な取組方針である「行政経営方針」に基づき、組織一丸となって取組を進めています。

近年、台風・豪雨災害など災害の激甚化、新型コロナ等の危機事象の頻発化、社会の急速なデジタル化、脱炭素社会の実現など、県を取り巻く社会情勢は急速に変化しています。

こうした社会情勢の変化や新たな行政課題に対応していくため、現行の行政経営方針を継承・発展させ、新時代の行政経営への質的転換と財政構造改革を目指す「新たな行政・財政改革方針（仮称）」の策定を進めています。

「新たな行政・財政改革方針」の策定にあたり、これからの県組織のあるべき姿や県の行財政の方向性について、県民の皆様から広くご意見を賜り、方針に反映させていきたいと考えていますので、率直なご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

問1 県の行っている行政サービス全般（※）について、あなたはどれくらい満足していますか。（〇は1つ）（※問2の選択肢も参考にしてください）

- ① 不満・もっと努力すべき
- ② やや不満・もう少し努力すべき
- ③ どちらともいえない
- ④ やや満足・努力している
- ⑤ 満足・よく努力している

問2 県の行っている以下の分野の行政サービスについて、満足度を教えてください。（〇はそれぞれ1つ）

	不満・ もっと努力 すべき	やや不 満・もう 少し努力 すべき	どちら ともいえ ない	やや満 足・努力 している	満足・よ く努力し ている
① 防災（危機管理・災害対応（新型コロナ対応含む）、防災情報発信、消防）	1	2	3	4	5
② 暮らし・安全（公共交通、人権・男女共同参画、県民協働・NPO、交通安全、防犯、消費者保護）	1	2	3	4	5
③ 環境（脱炭素社会づくり（ゼロカーボン）、自然・環境保護・保全、ごみ・リサイクル）	1	2	3	4	5
④ 健康・福祉・医療（健康づくり、地域医療、介護、障がい者福祉、食品・生活衛生）	1	2	3	4	5
⑤ 教育（学校教育、教育のICT化等） 環境整備、高校改革、スポーツ推進、文化・芸術、生涯学習	1	2	3	4	5

- ⑥ 子育て（児童福祉、子育て支援、結婚支援、子ども・若者支援） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑦ 農業・畜産業・林業・水産業（生産振興、技術支援、普及指導、後継者育成、ブランド化） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑧ 仕事・産業（商工業、雇用創出、能力開発、産業・中小企業支援、産業誘致） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑨ 観光（山岳観光振興、観光振興・支援、観光PR・ブランド化、移住推進、国際交流推進） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5
- ⑩ 社会基盤（道路、河川、砂防、都市計画、上下水道・電気、土地対策） 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

問3 県では、行政サービスの質の向上に向け、行政経営方針に基づき、行政・財政改革に取り組んでいます。現在取り組んでいる以下の取組について、今後取り組んでいくべきだと思うものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 県民協働の推進（県民、NPO、企業など多様な主体との協働の推進）
- ② 県政への参加（施策の企画立案や事業実施における県民や関係者の意見の把握と県政への反映）
- ③ 市町村等との連携推進（災害対応、観光振興など広域的課題における国、他県、市町村等との連携）
- ④ 人口減少時代に合わせた効率的な職員体制の構築
- ⑤ ファシリティマネジメントの推進（※1）（県有財産の総量縮小、効率的利用、県有施設の長寿命化、維持管理の適正化）
- ⑥ 持続可能な財政運営（税込・新たな歳入の確保、重要施策・課題への予算の重点化、行政コストの公表など財政の「見える化」）
- ⑦ 施策立案への統計データの活用、県が保有する統計データの公開（オープンデータ化）
- ⑧ 広報・情報発信の充実（SNSやチャットを活用した様々な媒体による県行政の取組や長野県の魅力の効果的な発信、見やすくわかりやすいホームページづくり）

（※1）ファシリティマネジメントとは
土地、建物、工作物などの財産を経営資源と捉え、総合的、長期的な観点により、財産を戦略的かつ適正に保有・処分・維持・利活用を行う手法

問4 県では、社会情勢の急速な変化に伴う新たな行政課題に対応していくため、新たな行政・財政改革に取り組もうとしています。今後の行政・財政改革では、どのような分野を重点的に取り組んでいくべきだと思いますか。（〇は3つまで）

- ① ICT（※2）の活用による効率化・県民サービスの向上（行政手続のオンライン化、AI（人工知能）・RPA（※3）の活用による仕事の減量化・業務効率化、キャッシュレス決済の拡大等）
- ② 職員の資質・能力・専門性の向上、学ぶ姿勢への意識改革
- ③ 持続可能な財政基盤づくり（徹底した事務事業の見直しや歳出削減・歳入確保等）
- ④ 県政情報の効果的な発信、積極的な情報公開（SNSやチャットの積極的・有効活用等）
- ⑤ 県の危機管理能力の強化（大規模災害や新型コロナ等の危機事象への対応等）
- ⑥ 気候変動対策への貢献（持続可能な脱炭素（ゼロカーボン）社会づくり）

（※2）ICTとは
情報通信技術のこと。ICTの活用により、行政手続がオンライン化による業務効率化や、テレワークの導入による働き方改革など、様々なことが期待できる。

（※3）RPAとは
ロボティック・プロセス・オートメーションの略。ソフトウェアロボットに定型作業を代行させることで、作業を自動化できるツール。パソコンでの入力作業や集計作業のほか、行政への各種申請・窓口対応の自動化も可能。

問5 その他、今後の長野県の目指すべき姿・方向についてご意見がありましたらお聞かせください。
（行政経営、行財政運営、職員の育成・意識改革・働き方改革など、どんなことでもけっこうです。）

【自殺対策について】

長野県では、毎年300人以上の方が自殺で亡くなっている中、平成30年3月に「第3次長野県自殺対策推進計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない信州」の実現を目指し、人材育成、普及啓発、関係機関とのネットワーク強化、市町村支援などの取組を行っています。

つきましては、今後の自殺対策の参考とするため、以下についてお伺いします。

問6 自殺対策に関する以下の事柄について知っていましたか。次の①から⑥のそれぞれについて、該当するもの1つだけに○をつけてください。（○はひとつずつ）

項目	知っていた	知らなかった
①こころの健康相談統一ダイヤル(※1)		
②こころの相談窓口(※2)		
③よりそいホットライン(※3)		
④長野いのちの電話(※4)		
⑤各種SNS相談窓口(※5)		
⑥ゲートキーパー(※6)		

※1 「こころの健康相談統一ダイヤル」

- ・ ☎0570-064-556 (相談時間/月～金(祝日を除く)9:30～16:00、18:30～22:00)
- ・ 消えてしまいたい、家族や知人に死にたいと訴える人がいる、身内が自死してつらくてどうしようもない、などの自殺に関する相談をお受けします。

※2 「こころの相談窓口」

- ・ ☎026-266-0280 (相談時間/月～金(土日祝日を除く)8:30～17:15)
- ・ 新型コロナウイルス感染症関連のこころの相談窓口として、令和2年2月25日に設置

※3 「よりそいホットライン」

- ・ ☎0120-279-338 (24時間・通話料無料)
- ・ 暮らしの困りごと、心の悩みごと、DV問題などの様々な問題について受け付けます。

※4 「長野いのちの電話」

- ・ ☎0120-279-338 (24時間・通話料無料)
- ・ 孤独や不安に陥ったり、生きる目標が見えなくなったり、心が疲れて自分を見失っている人々に、電話を通して共に考え感じ、援助します。

※5 「各種SNS相談窓口」

- ・ LINEやメールなどの相談窓口です。(例)長野県教育委員会「ひとりで悩まないで@長野」、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク「生きづらびっと」「よりそいチャット」、NPO法人東京メンタルヘルス・スクエア「こころのホットチャット」、NPO法人BONDプロジェクト など

※6 「ゲートキーパー」

- ・ 地域の中で自殺の危険性が高い人の早期発見・早期対応を図るため、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、見守りや、必要に応じて専門家へつなぐ役割を期待される人。具体的な役割は、問11の選択肢①～④にあります。

問7-1 新型コロナウイルス感染症の影響で、悩みやストレスを抱えていますか。それはどのような悩みですか。以下のあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

項目	○	相談した場合は相談先(問10より選択) ※
①家族・家庭関係		
②収入減・生活困窮関係		
③仕事・職場関係		
④学校・教育関係		
⑤様々な行動の制約		
⑥感染リスク		
⑦その他 ※		
⑧抱えていない		

問7-2 問7-1で①～⑦を選択した方にお聞きします。悩みやストレスの具体的な内容をお聞かせください。

問8 悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。(○はひとつ)

- ①そう思う
 - ②どちらかというと思う
 - ③どちらかというとは思わない
 - ④そうとは思わない
 - ⑤わからない
- } 問9へ
- } 問10へ

問9 問8で「①そう思う」または「②どちらかというと思う」を選ばれた方にお伺いします。誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じるのはなぜですか。その理由について、あてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- ①自分で解決できるから
- ②周囲の目が気になるから
- ③相談しても変わらないから
- ④どこに相談すればいいのか分からないから
- ⑤近くに相談できる人がいない、または相談機関がないから
- ⑥かつて相談したことがあるが不快な思いをしたから
- ⑦その他 ()

問10 「死にたい」ほどつらい気持ちになったとき、どのような相談相手(窓口)に相談したいと思えますか。該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

項目	○
①専門家(電話相談窓口)	
②専門家(各種SNS相談窓口)	
③家族・友人・同僚など	
④医療機関	
⑤地域支援者(民生委員、保健師など)	
⑥その他(具体的な相談相手を教えてください)	
⑦誰にも相談したくない	

↓具体的な相談相手(自由記載)

問11 「表情が暗い」「元気がない」など、いつもと様子が違う人に対して、普段から実施していることはありますか。(○はいくつでも)

- ①「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聴く
- ②相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する
- ③早めに相談機関や医療機関などの専門家に相談するよう促す
- ④心や身体の負担が減るよう配慮し、寄り添いながら見守る
- ⑤実施していることはない

【人生二毛作社会について】

県では、仕事を退職した元気な高齢者が第二の人生を、自分らしく生きがいを持って暮らせる「人生二毛作社会」(*)を推進しています。
つきましては、今後の取組の参考とするため、以下についてお伺いします。

※ 人生二毛作社会とは
シニア世代が培ってきた豊富な知識と経験を社会参加や仕事で活かし、地域の担い手として元気に活躍できる社会のことです。

問12 「人生二毛作社会」という表現をどのように感じますか。①から③のそれぞれについて、該当する番号に○をつけてください。(○はそれぞれひとつ)

- | | そう思う | 少しは
そう思う | どちら
ともいえ
ない | あまり
そう思
わない | そう
思わな
い |
|-----------------------------------|------|-------------|-------------------|-------------------|----------------|
| ① 退職したシニアの第二の人生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 高齢者を対象とした社会
(若者や中高年者の関わりが薄い) | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 「人生二毛作社会」のイメージが湧かない | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ その他() | | | | | |

問13 人生100年時代を迎えて、シニアが自分らしく生きがいを持って暮らすためには、県としてどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

- ① シニア同士が交流できる機会の創出
- ② 若者とシニアが交流できる機会の創出
- ③ 中高年者を対象とした退職後の人生を考える研修会等の開催
- ④ シニアの生きがいづくりや健康づくりに関する講座の開催
- ⑤ 身近な場所で社会参加できる場の提供
- ⑥ シニアの就職に関する情報の提供
- ⑦ 分からない
- ⑧ 特にない
- ⑨ その他()

【道路整備等に関する意識調査について】

近年、道路に求められる役割は、従前からの交通の円滑性・安全性向上に加え、景観等の質的向上やまちづくりへの寄与など、多様化しています。

今後の道路整備方針に道路を利用する皆様のご意見を参考としたいため、問14～19についてお伺いします。

問14 あなたは、現在の道路整備状況について満足していますか。（〇はそれぞれ1つ）

	満足 している	ある程度 満足 している	どちら ともいえ ない	あまり 満足して いない	満足して いない
①お住いの市町村周辺について	1	2	3	4	5
②長野県全体について	1	2	3	4	5

問15 あなたは、今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 通勤や買い物などの生活道路
- ② いくつかの市町村を結ぶ幹線道路
- ③ 市街地の道路
- ④ 山間地の道路
- ⑤ 観光地に通じる道路
- ⑥ 隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)
- ⑦ 高速道路
- ⑧ 整備の必要はない
- ⑨ 分からない
- ⑩ その他()

問16 あなたが日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理
- ② すれちがいやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす
- ③ 歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善
- ④ 落石、土砂崩れの危険をなくす
- ⑤ 地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保
- ⑥ 交通渋滞をなくす
- ⑦ わかりやすい標識の設置や道路情報の提供
- ⑧ 自然環境や景観への配慮
- ⑨ バス専用レーンの設置、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他()

問17 あなたは、高齢歩行者などに対する配慮として、歩行者の立場からどのような道路整備が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- ① 歩道を設置したり幅を拡げたり、段差・傾きの解消などを行う
- ② 電線類の地中化を行い、電柱を撤去する
- ③ 自転車と歩行者の通行空間を分離する
- ④ 違法に設置された看板や放置自転車を撤去する
- ⑤ 高齢者や車いす使用者などが快適に移動できるバリアフリー経路の案内をする
- ⑥ ベンチを設置するなど休憩のできる歩道を整備する
- ⑦ 特にない
- ⑧ わからない
- ⑨ その他()

問18 あなたは、お住まいの地域が活性化するために、道路整備の面からどのような対策が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- ① 工場建設などの民間の投資と連携した高速道路のインターチェンジや港湾・空港などへのアクセス道路の整備
- ② 野菜や魚介類などの生産地から消費地への迅速な輸送を可能にするための幹線道路の整備
- ③ 周辺の市町村への通勤を容易にする幹線道路の整備
- ④ 大きな病院や商業施設などへ行きやすくする道路の整備
- ⑤ 高速道路のサービスエリア・パーキングエリアや道の駅を活用した地域拠点の整備
- ⑥ 観光地へ行きやすくする道路の整備
- ⑦ 観光資源となるような美しい景観の道路の整備
- ⑧ 歩行者や自転車が気軽に散策を楽しめる道路の整備
- ⑨ バス同士やバスと鉄道などとの乗り換えがしやすいターミナルや駅などの拠点の整備
- ⑩ 特にない
- ⑪ わからない
- ⑫ その他()

問19 大地震や大雨などによる災害が発生した場合、お住まいの近くにある道路について崩落や浸水による道路網分断等の不安を感じますか。（〇は1つ）

- ① 不安がある
- ② やや不安がある
- ③ あまり不安はない
- ④ 不安はない
- ⑤ わからない

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。